

---

## 言語景観に関する社会言語学的基礎研究Ⅱ

尹 亭仁 / 彭 国躍

本研究グループの中国関連の研究成果は2つの面からまとめられる。

1つ目はこれまで収集された写真・映像データに基づいた論文の刊行と執筆である。すでに刊行された論文は以下のとおりである。

(1) 「上海の都市形成期における言語景観 - 歴史社会言語学の事例研究」『神奈川大学言語研究』(40) pp23～57, 2018年3月。

(2) 「百年前頃の上海の景観言語と景観文字の記述研究」『人文学研究所報』(59) pp73～98, 2018年3月。

本年度は上記研究成果の続きとして、コロニアル時代における上海言語景観のタイポロジー関連

の論文と、言語景観のミクロレベルでの通時的研究の論文を2本執筆中である。

2つ目は上海以外の中国各地の言語景観の歴史写真・映像資料の収集である。現段階ではかつての満州地域の写真資料を集めているところであるが、当時の満州の言語景観に現れる言語使用の実態と地域差の興味深い事実が一部浮かび上がってきている。今後資料収集が一段落したらデータ分析と論文執筆に移りたいと考えている。

一方、本年度の韓国語関連の言語景観研究では、東京、横浜、京都、長野、羽田空港などで採集した300枚以上の韓国語の写真の分類および分析を行なっている。〈図1〉と〈図2〉はハングルで

の表示がついている「案内」「到着」である。<図3>は「歓迎します」の意味の「환영 (歓迎) 합니다」である。いずれも、漢語動詞で、初級レベルでは出てこない単語である。しかし、このよ

うな言語景観を用いると、初級レベルでも簡単に導入することができるため、語彙力のアップにつながる。



<図1> 안내 (案内)



<図2> 도착 (到着)



<図3> 환영 (歓迎) 합니다

<図4>は「お菓子」、<図5>は「新聞・雑誌」、<図6>は「お湯」がハンゲルで表示されている。<図4>と<図5>は頻度の高い名詞なので、発音の練習と応用表現に用いることができる。<図6>は「뜨겁다」という形容詞の連体形の「뜨거운」

である。韓国語の形容詞は日本語と違って終止形と連体形の活用形が異なるため、習得に時間がかかる。<図6>のように具体的な用法の提示により、従来より習得がスムーズにいくことが期待される。



<図4> 과자 (菓子)



<図5> 신문 (新聞)·잡지 (雑誌)



<図6> 뜨거운 물

現在、300枚以上の写真を韓国語の文法項目に合わせて、初級と中級のどのレベルで提示したらいいのか、分類・分析の作業を行なっている。こ

のような日本での資料を韓国語教育に生かす方法を摸索する傍ら、漢字文化圏のソウルと北京での言語景観との比較も試みている。

